

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2021年(令和3年)10月1日

会報 第119号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

(AAC21) ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net【カンボジア事務所】#9E2,street432,Sangkat Boeng Tumpum,
Khan Meancheay,Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707【ホームページ】[カンボジア支援](#) [検索](#)【公式ブログ】[メコンの風に吹かれて](#) [検索](#)

小学校の校舎建設が始まりました

「味の素グループ労働組合」が資金協力

「味の素グループ労働組合」(本部=東京都中央区京橋)の資金協力により、カンボジアで小学校の校舎建設が始まった。レンガ造りの平屋建てで教室の数は4つ、机や椅子、黒板などの備品付き。

校舎を建てるのは「チョロロチョロウボテイサル小学校」(クラチェ県スヌオル郡、生徒数=460人)、首都プノンペンから車で5時間かかる内陸にある、老朽化した木造校舎が1棟あるだけの小さな小学校だ。

生徒数が多いため午前・午後の2部制授業を行い、教室不足のため一部の生徒は近所のお寺を借りて勉強している。

建設工事に先立ち7月28日、村民ら約200人が集い、クラチェ県のワー・トーン知事が出席して着工式を行った。

8月から工事が始まり、11月末までの完成を目指し建設工事が進んでいる。事故なく安全に進行するよう、祈願したい。



着正式の様子



工事現場の前に集まる生徒たち

「桐生赤城ロータリークラブ」例会に根岸理事長が出席

前号にて既報の通り「桐生赤城ロータリークラブ」がカンボジアの小学校に井戸1基とトイレ1棟を寄贈してくれたが、その報告のため、桐生市内で開かれた同クラブの例会(8月3日開催、40人参加)に根岸理事長が出席、6月30日に現地で行われた贈呈式で撮った動画を会場で上映しながら、詳細を説明した。

同クラブは、コロナが落ち着いたら現地を訪問し、完成した井戸とトイレを視察しながら、生徒たちとも交流したいと話していた。



感謝状を渡しました

ZOOMオンライン交流会を毎月開催

コロナ禍の世の中になり日常生活にZOOMが定着したが、カンボジア訪問が叶わぬ昨今、現地情報をZOOMで紹介するオンライン交流会を毎月第一土曜日の午前中に開催中。8月は7日に、9月は4日に開催、常に15人前後の皆さんが参加している。

参加を希望する方は事務局までご連絡を。スマホやパソコンをお持ちの方なら、どなたでも参加可能。



民主主義が試されている

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長

根岸恒次

世界中がコロナに振り回されている間に、アフガニスタンではイスラム原理主義を掲げたタリバンが政権を掌握、歴史が20年前に逆戻りしてしまいました。やっと根付いた民主主義が、崩壊の危機にさらされています。

住民たちが空港に押し寄せ、国外脱出をはかる様子をテレビで見ている、40年前にポルポトが首都プノン

ペンを制圧した時に、多くの外国人が国外脱出した光景を思い起こしました(映画「リング・フィールド」)

しかし住民は脱出できず(むしろ歓迎していた)、豹変したポルポト政権は以後4年近くにわたり拷問

や殺戮を繰り返し、病気や餓死を加えると150万人、200万人が命を落としたとされています。

1979年にポルポト政権が崩壊してから長い間内戦が続きましたが、1991年に紛争各派がフランスのパリに集まって平和協定が結ばれ、ようやく平和の兆しが見えてきました。

1993年に国連の指導で普通選挙が行われ、民主化が一気に進んだが見えましたが、2010年代になると与党(人民党)による野党への締め付けが強化され、現在は野党不在の事実上一党独裁の国になってしまいました。デモや集会など政治

活動は一切禁じられていて、街は不気味なほど静かです。こちらにも元に戻りそうな気配を感じます。

東南アジアに目を向けると、タイとミャンマーで軍が政権を掌握し、民主主義を否定する専制国家の道を歩み始めました。他の国が追いつかないことを祈るばかりです。

思えば日本も、76年前まで軍国主義のもと、世界中を相手に戦争をしていましたが終戦、GHQ(連合国軍総司令部)の占領を経て1952年に主権を回復、民主主義を標榜する平和国家として新たに出発、様々な課題を抱えつつも、何とか持ちこたえ今に至っています。



子どもは国の宝

日本とカンボジアが、恒久平和、民主主義、人権尊重など普遍的価値観を共有する民主主義国家として、アジアをリードすることを夢みています。

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば76年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【教育里親会費】子ども1人につき 1年間3万円。

- ・内訳
- 子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)
- 年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)
- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらでも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】

- ・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】

- ・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。
- ・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)

里親さんありがとうございます



Facebookに本会の活動を随時投稿しています

教育支援を
お願いします!

「クメール教育里親基金」では、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを、会報紙面で紹介いたします。支援して下さる方は、子どもの名前を添えて、事務局までご一報ください。
(先に里親が確定する場合がありますので、ご承知ください)
また、既に里子をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見えるマン・ツーマンの教育支援です。

☎03・3991・2854
FAX 03・3557・1213

投稿

シャムハイ
第二の上海になりそう

パンニャ
(プノンペン在住、旅行会社経営)

カンボジアの「シアヌークビル」はきれいな海岸が有名でしたが、この3年間で景色がずいぶん変わりました。中国が支援してインフラ整備し、中国人投資家が集まる場所になりました。

コロナの時期ですが、ホテル、カジノ、スーパーマーケットが次々建てられています。

シアヌークビルは、いずれ第二の上海(シャムハイ)になるだろうと、カンボジア国民は予想しています。



変貌したシアヌークビルの街並み

トーチ・スレイネットちゃん
(女の子)

●両親離婚し、母親はプノンペンの縫製工場に働く。妹が2人いる。現在叔母、妹と暮らす。
●好きなこと＝本を読むこと。
●学校まで徒歩で20分。

ソムブル小学校
5年生(11歳)

ポーン・ピアックダイ君
(男の子)

●両親が離婚。両方とも再婚して自宅に戻らない。兄弟なし。現在祖母、いとこ2人と暮らす。
●好きなこと＝サッカーをすること。
●学校まで徒歩で15分。

ソムブル小学校
6年生(12歳)

ホン・キムヒアン君
(男の子)

●家族構成＝両親離婚、母親のみ。弟が2人いる。現在母親、弟と暮らす。
●好きなこと＝サッカーをすること。
●学校まで徒歩で15分。

チアシム小学校
4年生(9歳)

ヴォン・ジェンジュリーちゃん
(女の子)

●家族構成＝両親離婚し、母親はプノンペンの縫製工場に働く。兄弟なし。祖母ほか数人と暮らす。
●好きなこと＝ぬいぐるみと遊ぶこと。
●学校まで徒歩で20分。

チアシム小学校
1年生(5歳)

ジャン・シレイキアーちゃん
(女の子)

●家族構成＝両親が離婚、両方とも再婚して自宅に戻らない。兄弟なし。現在祖母、いとこ2人と暮らす。
●好きなこと＝本を読むこと。
●学校まで徒歩で20分。

ソムブル小学校
3年生(10歳)

投稿 カンボジアの希少品

青木貴之(プノンペン在住、会社員)

私の買い物の基準として、丈夫で機能的そして珍しい物が欲しいのですが、今回はその望みをかなえる市場「プサータクトラー」を紹介させていただきます。

「プサータクトラー」(タクトラー市場)は公務員、警察、軍隊のグッズを主に売っています。プノンペン国際空港から街の方へ行く途中の右側にあります。

カンボジア軍はもちろん、タイ王国、中国、韓国、アメリカなどの迷彩服なども売っています。

迷彩服は、カンボジアのオジサンの作業服のように着られる事が多いのですが、丈夫で機能的な作りですし、普通の国では一般人が買うことはできませんので、とても希少です。

タクトラー市場



公務員の制服も、階級章などをつけなければ一般人でも着て良いそうで、普通に売ってくれます。珍しい物を手に入れたという、男児の心をくすぐる楽しい市場です

投稿 カンボジアのお寺さん、
日本と大きく違うところ

中村善信(プノンペン在住、喫茶店経営)

日本と違い、カンボジアのお寺さんは開放的で自由に出入りできて、地元の方々ものんびりゆったり過ごされています。

お寺の敷地内にカフェがあったりします。常設のお店や、毎日移動して来られるお店もあります。パンがあったり、インスタントラーメンがある場合もあります。年中果物が豊富に収穫できるお国柄、果物販売されているお店もあります。

境内にはテーブルや椅子もあります。皆さんお話されたり、スマホをさわったり、勉強しておられる方、さまざまです。

樹木の下の日陰は意外と涼しいです。また静かで、クルマの騒音もしません。

カンボジアに来られる方、ぜひとも滞在先の近くのお寺さんを訪問してください。

(ブログ、なかやんのプノンペン滞在記を毎日公開しています。ご覧になってください)

お寺の様子



カンボジアの小学校に3つの井戸が完成



澤木 和子様寄贈の井戸



根谷崎 百合子様寄贈の井戸



松原 睦美様寄贈の井戸

この程カンボジアの小学校に、手押しポンプ式井戸が3つ完成した。

カンボジアの小学校はコロナの影響で断続的に休校しており、長い間井戸建設ができなかったが、学校や村の協力で前号にて既報の通り6月に井戸3基が完成した。更に7月には3つの小学校に井戸が完成、7月29日に現地スタッフが小学校を訪問してミニ贈呈式を行った。

完成したのは、澤木和子様寄贈の「ダンヘット小学校」(トゥボンクモム県メーモット郡、生徒数=46人)、根谷崎百合子様寄贈の「チュレイルン小学校」(トゥボンクモム県メーモット郡、生徒数=378人)、松原睦美様寄贈の「トモータダオーク小学校」(トゥボンクモム県メーモット郡、生徒数=45人)の3つの小学校。

依然として学校が休校中のため、近所に住む生徒たちが集い、少人数で井戸の完成を祝った。

井戸の深さは平均して約40メートル、ヒ素などの水質検査を実施しているので、生徒や村民には安心・安全な井戸水を提供することができる。

静かなアンコール
ワット

コロナ禍で、世界遺産アンコールワットはご覧の通り。訪れるのは、無料で入場できるカンボジア人ばかり。外国人の受け入れはいつになることやら。



アンコールワット

船も売り出しに

コロナ禍で乗客が見込めないため、トンレサップ川やメコン川を周遊する船が売り出しにでている。値段は2万ドルとか。この時期、買手はいそうにない。



周遊船

2、3年前にも、知り合いがビールを買った車があったり、ヤマハのバイクが当たったりと豪勢だ。中古品なので、乗れるかどうか心配ではある。



景品の中古車

ウォッチ
カンボジア

射撃場

実弾射撃場

日本の観光地には垂涎の場所。カンボジアでは、物を買いと抽選券が付いてくることが多く、最近知り合いが電話のプリペイドカードを買った。2、3年前にも、知り合いがビールを買った車があったり、ヤマハのバイクが当たったりと豪勢だ。中古品なので、乗れるかどうか心配ではある。

里子へのプレゼントは 随時受け付けています

- コロナウイルスの感染拡大により、カンボジアへの渡航が難しくなりました。しかし、海外送金は問題なく可能ですので、当面は皆様から送って頂いたプレゼント代金を現地の本会銀行口座に送り、現地スタッフがプレゼントをお届け致します。里子からのお礼状(写真付き)もメールで送ってまいります。
- 事務局に届いた里子プレゼント(品物)につきましては、カンボジアへの渡航が可能になりましたら、空港から持参させていただきます。暫くお時間を頂きますので、この時期品物を避け、なるべく現金をお送りください。(手紙はメールで、現地に送ります)

現地購入(プレゼント代を振込票にてご送金ください)

・自転車(中古品)	7,500 円
・お米(50キロ入り)	4,500 円
・通学用かばん	3,000 円
・Tシャツ2枚&サンダルセット	2,000 円
・本(絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊)	1,000 円
・お菓子セット(お菓子の詰め合わせ)	1,000 円
・文房具セット(ノート、筆記用具等)	1,000 円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。

※里親様が現地にいき、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります。

里子への教育支援金を 隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子が通学する小学校(27校)を隔月に訪問、教育里親様より頂戴した年会費(1人の里子につき3万円)の中から、42%に当たる12,600円を6回に分け、米ドルに換金して届けている。

中学校、高等学校に通う教育里子も出身校の小学校に集まり、支援金を受け取っている。

8月上旬に6月と7月分を、現地スタッフが各学校を回り届けた。

カンボジアの学校は、コロナウイルスの感染拡大により休校中。生徒たちのワクチン接種が済めば再開する予定。



支援金を届けました



授業再開を待つ里子たち

里親さんの多くが高齢のため、Zoomとかオンラインと聞くだけで拒否反応を示す方が多いが、実際にやってみると意外に簡単。若い方は得意なので、お子さんやお孫さんにセットしてもらい挑戦してほしい。シニアでも詳しい方がいるので、お友達にお願いしてみてもいいか？

Zoomオンライン里子訪問を希望される方は、事務局にお問い合わせを。☎03-3991-2854

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在305人の子どもたちを教育支援している。

カンボジアでは、新型コロナウイルスの感染爆発により3月以降、全国すべての学校が休校となったが、生徒たちへのワクチン接種が進んでおり、近々に授業再開の情報があがる。カンボジアでも十代以下はほとんど罹らない病気なので、早く再開してあげてほしい。

里子訪問が難しい中、Zoomによるオンライン里子訪問が毎週行われている。

クメール教育里親基金活動レポート

及川副理事長が平田小学校を訪問

7月30日、及川英博副理事長(岩手県奥州市在住)が1年半ぶりに、「平田小学校」(岩手県釜石市)を佐々木会員と共に訪問した。

「平田小学校」はカンボジアの「プレチーク小学校」(トゥボンクモム県、生徒数=約6百人)と絵画や写真を通じて生徒間で交流していたが、コロナ禍により昨年3月から途絶えている。

「平田小学校」は夏休みに入り担当の先生も変わったが、廊下にはカンボジアコーナーが常設されていて、今までの交流作品が展示されていた。

コロナが終息すれば交流が再開されることだろう。



岩手県会員の皆さん



廊下にカンボジアコーナーを常設

子どもたちの笑顔

写真提供:遠藤 啓様

好評につき、前号に続いて「子どもたちの笑顔」を掲載します。コロナもいつか終息し、通常の生活に戻る日がやがておとずれるでしょう。子どもたちのように、明るい笑顔で暮らしたいものです。



投稿 またカンボジアに行きたいな

穴野清美(鹿児島県、里親会員)

創立20周年、おめでとうございます。

2007年から里親として、現在2人の子どもの支援させていたでいます。

2011年「カンボジアふれあいの旅」に参加し、初めて支援した女の子に会いに行きました。うる覚えのクメール語で挨拶し、お互い嬉し恥ずかしかったことを、昨日のことにように思い出します。

初めてのカンボジアでしたが、根岸理事長や参加した会員さんたちが声をかけてくださり、本当に心強く感謝しています。会報で、あの時出会った方々の名前を見ると懐かしく、再びカンボジアに行きたいなと思ひます。

一日も早く今の状況が落ち着き、世界が平和で、国の行き来が自由にできますように願ひます。

皆様もどうぞお体を大切に、いつか会える日を楽しみにしています。



投稿 Zoomオンラインの里子訪問

……直接会っている錯覚……

及川英博
(岩手県、法人副理事長・里親会員)

8月7日に、里子ソイ・ソペアの自宅と私の家との間でZoomを利用した里子訪問を試みたが、電波が不安定で途中で中止した。

後日スタッフが電波の安定したガソリンスタンドを見つけ、8月20日に里子をその場所まで連れ出して、今回のZoom里子訪問となった。

私が里親になったのは、ソペアが2年生の頃だった。それから自宅訪問で1回、学校訪問でソペアと偶然に出会ってから、三度目の面会となった。

あの小さかった幼子が、身長が160cmを超える立派な中学生になっていた。家事手伝いをよくしているらしく、日焼けした笑顔で私を画面上で出迎えた。高校に進学して将来は軍隊に入りたいと、はっきりした目標を話してくれた。

母親が出稼ぎから戻って家の近くの縫製工場に勤務したので、一緒に暮らせることが今は一番うれしいことや、コロナで学校が休校中で、スマホでオンライン授業を受けているが、自分にはスマホがないので、友達のスマホと一緒に見せてもらいながら勉強していることなどを話してくれた。

鮮明な画面を通じて話しているうちに、直接会っている錯覚に陥った。

あっという間の30分だった。またZoomでの再会を約束して手を振った。



オンラインでこんにちは

本会の会員状況をお知らせいたします (2021年8月末日現在)

●教育里親会員	220名
●個人会員	76名
●団体会員	10団体
●寄付協力者(単発)	59名
合計	365名

書き損じハガキ・未使用切手

・商品券等をお送りくださいませんか

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手やビール券やデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ぜひ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。



事務局便り

■毎年10月に開催の「グローバルフェスタ JAPAN」お台場」は、場所を変え、オンラインで開催されるようです。本会は、参加を見送りました。

■Zoomによるオンライン里親訪問(毎週金曜日午前中)とオンライン情報交換会(毎月第1土曜日午前中)が定着しました。コロナ禍を逆手に取り色々挑戦して参りますので、どうぞご参加下さい。

■カンボジアでは学校に通う生徒へのワクチン接種が進み、12月から授業が再開される見通しです。オンライン授業が困難な地方の生徒たちには朗報です。

■カンボジア在住の日本人やカンボジア人からの、会報への投稿が増えてきました。会報には、なるべく沢山の現地情報を会員の皆様にお伝えする使命がありますので、これからは紙面の充実を図って参ります。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

【口座名】
21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちょ銀行】
019支店 当座 0160916

【りそな銀行】
練馬支店 普通 4098235

●会費・寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

●当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

●個人会員(月額5千円)

●団体会員(月額1万円)

●教育里親会員(月額3万円)

●子どもたちへ直接払う年額

●会の運営に回す年額

●寄付金

春さんのカンボジアレポート

～東京オリンピック参加～

世界最大の災禍「武漢コロナ」の中、一年遅れて「2020+1 東京オリンピック」が開催されました。コロナ禍がさざ波状態の東京でこそ開催できました。これにカンボジアも参加しました。

カンボジアは戦争と政治的混乱のため、1972年から1992年の間は参加しませんでした。1994年に国際オリンピック委員会(IOC)に復帰し、1996年以來すべてのオリンピックに参加しています。

今回、カンボジア王国からは役員・選手で8人の代表団が参加しました。出場した選手は3人で、水泳自由形50メートルのクメールブンピクモラカット(女子)・ヘムプッチ(男子)と、陸上100メートル走のペンソコン(男子)です。前回のリオ・オリンピックにマラソンで参加したチュマル・ヒロシ(元日本人・猫ひろし)は参加しませんでした。

成績は3人共健闘して自己記録を更新しましたが、予選通過できませんでした。

今大会でフィリピンの重量挙げの選手が、97年目にして初の金メダルを獲得し、フィリピンは国中がお祭り騒ぎになりました。カンボジアはいつの日になるのでしょうか。待ち遠しいです。



里親会員 鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)

投稿 未来を生きる子どもたちの為に私達がすべきこと

世界人口増加と地球温暖化

佐々木英介(東京都、里親会員)



カンボジアも人口増加

今年の春に示された「世界人口白書2021」によると、現在の世界人口は78億7500万人だとのこと。つまり70億人を突破した2011年から僅か10年でこんなに多く増加したということです。この様子では、来年末あたりには80億人まで増加してしまうかもしれません。更にこのまま増え続けた場合、2100年には150億人をも超えるかもしれないという、信じられないような数字も記されていました。

昨今の異常気象による世界各地で発生している災害が、地球温暖化対策に乗り出すきっかけを与えてはいるものの、北極海の氷だけでなく、温暖化を促進する海底に眠っていたメタンハイドレードの氷解も既に始まっているようで、もはや手遅れだとの報告もあります。

既に南海の海拔の低い島々では、海面上昇により生活圏が脅かされていますが、国連の気候変動に関する報告書によると、海面上昇幅は2100年までに2メートルを超える可能性があるとのこと。

そうなるとうと、フランスとドイツ、スペイン、英国を合わせた面積が海面下に没してしまうとのこと。となれば、人々の住む場所が追われるだけでなく、農作物を生産する平地も水没し、現在の2倍以上に膨れ上がった人口を補うだけの食料が生産できなくなることも予想されます。もしそうってしまった場合、食料の奪い合いで世界は大混乱となってしまうことでしょう。

2015年のパリ協定で示された各国のCO2排出量削減目標どおりに進んだとしても、地球温暖化のスピードがやや弱まるだけで進行を止めることは不可能です。だとすると、私達にできることは、これから予想される地球環境でも生き続けられる人口を保つことしかありません。

それでは、加速度的に増え続ける世界人口を抑制するにはどうすればよいのか。そのヒントも、これまでの世界人口白書に記されていました。(次号へ続く)

トンレサップ湖の子どもたち
カンボジアのトンレサップ湖はインドシナ半島最大の湖、ここで水上生活をしている人は100万人以上と言われています。ここでも子どもたちの笑顔がまぶしそう。



写真提供
中村善信様



教育里親会員 入会申込書

年 月 日

氏名	ふりがな	生年月日	年 月 日
住所	〒 (TEL)		
備考	1. サポートして下さる子どもの人数 [] 人 2. サポートして下さる子どもの性別 ① 男の子 ② 女の子 ③ どちらでも 3. その他 [具体的に]		

*入会して下さる方は所定の事項をご記入のうえ、本会事務局までお送りください。

本会はカンボジア王国政府が認定する国際NGOとして活動しています



貝を売る少女(プノンペン市内)